

2019年5月7日

## これまでに可逆性脳血管収縮症候群(RCVS)で 入院された患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

トヨタ記念病院脳神経内科では「Is RCVS Truly Reversible?:

Persistent cerebral damage is suggested by SPECT with eZIS (脳血流 SPECT 検査で示唆された RCVS における組織障害の遷延)」という臨床研究を行っております。この研究は、脳血管収縮症候群(RCVS)患者の臨床的特徴を調べ、病態を解明することを主な目的としています。そのため、2011年から2019年にRCVSで入院された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。以下の内容を確認してください。

○この研究はトヨタ記念病院 臨床研究審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2019年6月10日 ~ 2019年12月31日まで

対象調査期間

2011年1月1日 ~ 2019年4月30日まで

○今回の研究の対象は2011年から2019年にRCVSで入院された患者さんのカルテ、採血検査、頭部MRI画像検査、アイソトープ検査などです。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報等を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### 【問い合わせ先】

トヨタ記念病院 脳神経内科 医師

研究責任者：邦武 克彦

TEL：0565-28-0100(代) FAX：0565-24-7157(代)